

両神山 赤岩沢悪谷

野村

【日時】 2012年5月5日(土)

【メンバー】 L五十嵐、栗原、野村

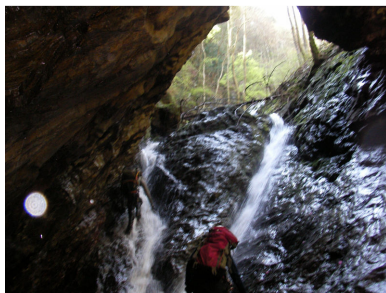
今年のGW、特に後半は天気恵まれなかった。そんな中ピンポイントで好天となった5日に気持ちのよい沢始めをすることができた。

胡桃沢集落の手前で土砂崩れが起こっておりその工事が行われているため、車はその手間にある所ノ沢橋に駐車。赤岩橋を過ぎ、悪谷出合いまで淡い新緑の中をゆっくりと歩き出す。

悪谷は流程2Km弱の間に700mも高度を上げるので、最初から傾斜がある。わりと大きめの石のゴースが続き、ただでさえ体力不足に加えて前夜の酒も残ってさっそく息があがる。



出合付近の大岩ゴース



大滝を進む五十嵐さん

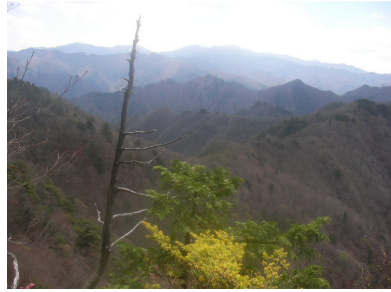
しだいに兩岸が立ってきて、いくつかの滑滝(いずれも2-3mで問題なく登れる)を超えていくとこの沢の核心となる10mチョックストーン大滝が見えた。

2条の流れの右側から左側の水流沿いにやや悪いところを五十嵐さんが思い切って突破。後続は上からロープで確保してもらった。

結局、登りでロープを使ったのはここだけであった。

奥の二股は右にルートをとると傾斜は緩み、大ナゲシの西側の尾根のコルに突き上げた。せっかくなので大ナゲシを見て行こうと、まっすぐに大ナゲシの方に向かうが、結局下に見える踏み跡にいったん戻らざるを得ず、少々無駄な体力を使ったものの、登った価値が十分にある大ナゲシからの眺望を楽しんだ。

記録によれば、ここからの下山は踏み跡にそっていったん南下して埼玉・群馬の県界尾根に乗り赤岩峠経由で赤岩沢沿いにのびる登山道を下るといもの。<どうせ赤岩沢沿いに登山道があるのであれば、赤岩峠まで回らずとも沢沿いに下って赤岩沢沿いの登山道に出よう>との考えで、東に向かって下り始めた。



何の問題もなく赤岩沢左岸までは来たものの、そこからが長かった！！ 30mロープ1本、あるいは2本つないでの懸垂下降を5回ほど繰り返してようやく1050m二股（ここは本流、右股ともにみごとな滝がかかっていた）に降り立った。ここまでで、大ナゲシを出てから3時間も費やしてしまった。

幸いにして二股のすぐ下で登山道を見つけることができ、あとは一息で下山、1時間で車まで戻ることができた。

赤岩沢はグレード3級の本流の沢であることを考えず、安易に下山ルートに選んでしまったのは失敗だったかとみんなで反省。でも、おかげでシーズン最初の沢からたっぷりと懸垂下降、ロープワークを堪能できた。

赤岩橋～赤岩峠の登山道は、エアリアを見ると現在は1050m二股より上部は右岸側に乗って伸びているようだが、僕らが下った部分でも何度も沢を渡渉していたので、結構なハイグレードハイキングルートなのだと思う。

初めて両神山の沢に来たが、悪谷は評判に違わぬ楽しい沢であった。また機会があれば、このエリアの違う沢にも行ってみたいと思う。

【グレード】 2級

【行程】 所ノ沢橋(08:05)～悪谷出合(08:30)～大滝(09:50)～1430mコル(11:35)～大ナゲシ(12:10/30)～赤岩沢本流下降～ 所ノ沢橋(16:30)

【地図】 両神山